

会派の活動を報告します

真政会

真政会では 6 月 15 日に市内 3 力所において視察研修を行った。

① (仮) 南古河駅予定地付近

(仮) 南古河駅の設置は、合併時の新市建設計画の先導的プロジェクトに掲げられている。また、昭和 58 年から「新駅設置促進期成同盟会」が中心となって推進している。平成 8 年には、都市計画決定もされているが、事業の進捗がみられないため、昨年度再基礎調査が行われた。新駅設置箇所の輸送上、技術上の問題はない。今後の課題は、駅用地の確保、収益性と周辺のまちづくりである。これらの課

題に早急に対応し、長年の懸案である新駅設置に向けて全力で取り組むよう提案した。

② 上辺見保育所建て替え工事

日赤跡地で子育て拠点施設として、上辺見保育所の建て替え工事が行われている。施設の整備方針は、安全な保育環境の提供、月齢に応じたきめ細かな保育環境の整備などである。また現在の定員 120 人に対し最大 180 人の受け入れが可能な規模となる。10 月から 11 月にかけて募集を行う予定とのことであり、待機児童の解消につながるものと思われる。

③ (仮) 三和地域交流センター

老朽化した三和公民館の閉館に伴い、三和庁舎 3 階が三和公

民館として利用されているが、大ホール、調理室がないため、現在の三和公民館を補完する施設として建設された。多目的ホールは、移動観覧席 288 席を含む 385 席、ステージは 174 m²と広く、他に調理室、会議室が設けられている。三和庁舎との間に連絡通路ができることもあり、今後多くの利用が期待される。



新駅設置の調査 (大堤踏切付近)

黒川 輝男 鈴木 隆
園部 増治 赤坂 育男

古河市公明党

古河市公明党は 6 月、「平成 30 年度予算」に基づく事業計画について、会派がこれまで取り組んできた実績の検証と、今後の政策提案に向けた、政策検討会を実施しました。

その結果、会派からの政策提案に対し、今年度事業化された主な項目は、

① 「産前産後サポート事業」

(今年度は切れ目のない支援体制の構築を目指し、産後うつ予防や虐待予防の観点から、産後の健康診査を実施します。)

② 「子ども医療費の無料化」

(0 歳から中学 3 年生までの医

療費自己負担分を、実質無料にします。)

③ 「防犯灯の LED 化事業」

(防犯灯の LED 化をリース契約によって一斉に実施します。)

以上が主な実績項目です。

また、今後推進が必要と考える重点政策について検討し、議会での政策提案に向けて、以下の重点項目を抽出しました。

(1) 食品ロスを限りなく「0」に近づけるために、市民の意識啓発の推進。

(2) 通学路の安全確保のために、危険箇所のさらなる改善。

(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けた充実した体制づくり。

(4) ゲリラ豪雨などによる冠水地域の解消に向けた、計画的な

整備計画の策定。

(5) 自主防災組織の拡充強化と市民の防災意識の啓発など、全市民的な防災活動の推進。

以上の主な項目について、今後は調査研究をさらに進め、議会での政策提案などを通し、住みよいまちづくりのために、全力で取り組んでまいります。



渡辺 松男 高橋 秀彰
佐藤 稔 靄見久美子